

# NEWS LETTER



△第4回 SDGs カフェ 【9/10(土)開催】

## CONTENTS

- ・ユースボランティア茅ヶ崎  
～若者ボランティア支援
- ・[特集] 市民活動のおまつり/  
交流イベント ヒストリー
- ・SDGs カフェ 4 & 5
- ・「さぼちゃんが行く！(関係機関編)」  
一般社団法人茅ヶ崎市観光協会
- ・ITスキルアップミニ講座 4
- ・お知らせ/カレンダー

# サポセンはみんなの想いでできている



ある日曜日、打合せに来館した団体の中に小さな女の子がいました。窓口で渡した折り紙で手際よくハートのピースを作り、はさみやセロテープも器用に使って出来上がったのは一輪のかわいらしいお花。サポセン花壇で育てた「ラベンダーポプリ」(来館者に提供中)に華を添えてくれています。

～みんなが“つながる”市民活動のおまつり～

## 注目 ▶▶ **こどたん+プラス2023** 開催日決定!

★ ★ ★ ★  
**対面開催**

2023年3月12日(日) 会場：ちがさき市民活動サポートセンター

募集カテゴリー：「ワークショップ」と「物品販売」  
＜サポセン企画・飲食も予定＞

…参加申込期間…  
10/14(金)～11/15(火)

オンラインで動画配信もあり！～サポセン HP 内特設ページ開設～  
2023年3月6日(月)～3月26日(日)

「こどたん+プラス2023」  
に参加したい方は

「キックオフ交流会」(企画募集説明会) へ

日時：2022年10月14日(金) 18:30～20:00 (ZOOM 開催)  
2022年10月15日(土) 10:00～11:30 (対面開催：会場 サポセン)

お申込はコチラ▶



対象：市民活動団体、自治会等の地縁団体、学校、行政、地域づくりや社会貢献に関心のある事業者・グループ・個人など  
内容：概要説明、質疑応答、参加団体による交流タイム…コラボ企画が生まれるかも？

# もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ ユースボランティア茅ヶ崎・SDGs カフェ開催報告&これからの予定

## 開催報告 ユースボランティア茅ヶ崎 7/21～9/10 《茅ヶ崎市社会福祉協議会との共催》

今年で18回目を迎えたユースボランティア。コロナ禍が長期化しているものの、「今年こそはボランティアをしたい！」という学生たちの意気込みが感じられました。しかし、体験日開始(7/21)近くなると感染状況が急拡大し、受入をやむなく中止する団体もありましたが、このような状況下でも青少年の自主性・創造性を育むためにボランティアする場の提供ができました。



### STEP 1 オリエンテーション(7/8・7/9)

1 密を避けるために3回実施！学生たちは自分の関心・興味がある体験先と面談し体験日を決めます。

★3人の学生からの体験談もあり



視野が広がり、ボランティアの楽しさを知りました♪

集まった学生たちに“気づき”をくれるような体験談でした。ありがとうございました。



体験先と学生とのマッチング (体験日を決めます)



### ♡中学生・高校生ボランティアのチカラに感謝♡



会場の案内看板作り、当日の会場設営、案内、検温・受付を担当。

▽感想を聞きました▽  
・会場設営は大変だったけど楽しかった

・他校の生徒と話せてよかった・人が集まる会を開催するにはこんなに準備が必要なんだと知って驚いた など

～いい経験になったと感じる学生が多くて嬉しいです！～

協力学校：茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部、鶴嶺高校 JRC 部、アレセア湘南中学高等学校ドルカス

### STEP 2 ボランティア体験(7/21～9/10)

体験先は、福祉施設、子ども支援、環境、地域安全などの分野で21カ所あります。

中学生66名、高校生92名、大学生・専門学校生11名、合計169名の申込みがあり、今までにない数となりました。自分で選んだ体験先!! 何を学び、何を感じたかな。

### STEP 3 体験の振り返り(8/23)

体験を終えた学生、残っている学生が集まり3つのグループに分かれ体験を振り返り、みんなで意見を共有♪

- 体験してよかったこと■
  - ・沢山の人と繋がりがもてたこと
  - ・現場を自分でみたこと
  - ・頼られたこと

- 体験して大変だったこと■
  - ・声をかける勇気が必要だった
  - ・スタッフに言われたことを意識し続けること
  - ・平等に接すること
  - ・自分にできることを積極的にみつけること



- 体験して気づいたこと■
  - ・ボランティアは「一方的」に与えるイメージだったが違ったこと
  - ・ボランティアは楽しい!
  - ・人間の基礎は保育園の先生が作ってくれること
  - ・人の作業により公園の自然環境が保たれていること
  - ・子どもたちは思った以上に周囲の行動をよく見ている
  - ・障がいがあっても能力に合わせてできることがあること

司会進行は、大学3年生のUさんと高校3年生のMさんにお任せ♪ みんなの心をしっかり掴んで上手に進めてくれました。

▲ボランティアを一文字の漢字で、創作漢字でも表してくれた人もいました。想像豊かな漢字が完成! →→



## ■体験レポート(感想文)&アンケートより■

- ・福祉施設で利用者の方との接し方が分からなかったが、段々慣れてきた。2回目に行った時は、自分の名前を覚えてくれてとても嬉しかった。人の役に立てる嬉しさと達成感があり、とてもいい体験ができた
- ・子育てに大変さを感じ(学び)両親に感謝したい
- ・山の植物のことや丁寧に素早くできる草の切り方など、普段の生活では味わうことができない貴重な体験ができた
- ・海のごみはマイクロプラスチックが最も多いことを知った
- ・団体のことをもっと深く知れたかった
- ・午前中だけの体験を選んだが、もう少しやりたかった
- ・もっと色々な体験をすればよかった
- ・コロナ禍で触れ合いの機会が少なかった



△海の見守り



△ほのぼのビーチフェスティバル受付

## ■受入れてくださった団体からの感想■

- ・プール遊びではびしょ濡れになりながら全力で遊んでくれた。将来、保育の道へ進もうとする学生たちへ現場を知ってもらえる機会となり、ありがたい
- ・活動に対する真摯な姿を見て、勇気をもらっている
- ・各々得意とすることを提供してくれたので、子どもたちの経験の幅が広がった
- ・知らない人同士で力を合わせて活動(作業)をする団結力や世代の違う人々との交流を深めるコミュニケーションの大切さを提供できたと思う
- ・子どもたちと同じ目線で参加してくれて、接し方や話し方に改めて教わる事が多く、勉強になる
- ・以前、体験に来た子が何年後かに就職先として選んでくれて嬉しかった。今後も福祉に興味をもってもらうおもてなしができるよう受入したい
- ・意識も意欲も高い子が多く、利用者の方とも積極的にかかわってくれた



△サポセンでの体験ラベンダーの花つみ

【ひとこと】部活や塾などで忙しい中、ボランティア体験をしようという姿勢は頼もしいですね。体験したことで地域のことを知り、また社会の課題にも目を向けることができたのではないのでしょうか。そして、この体験が次のステップ(自己実現)へ繋がると嬉しいです。受入れてくださった団体の皆さま、本当にありがとうございました。

### 【体験先の受入団体・施設 21カ所】

生活リハビリクラブ茅ヶ崎/(社福)翔の会萩園ケアセンター/(社福)翔の会湘南鬼瓦/(社福)翔の会ブルーベリー/(社福)翔の会水平線・入道雲/NPO 法人松の実会みらま〜/ボランティア香川/ぼかぼか保育園/(社福)松が丘保育園/NPO 法人ワーコレたんぼぼひろば たんぼぼはうす/きらきらぼし(子育て応援する会)/ちがぼ〜(茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会)/NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会/茅ヶ崎里山公園倶楽部/ほのぼのビーチ茅ヶ崎/サーフ 90 茅ヶ崎ライフセービングクラブ/NPO 法人湘南市民メディアネットワーク/認定 NPO 法人 NPO サポートちがさき  
 ※NPO 法人トムトムあいあいクラブ/湘南動物愛護病院/NPO 法人 WE21 ジャパンちがさき (順不同) ※感染拡大防止のため受入中止

## ■若者ボランティア支援

### 青少年の成長と市民活動を知る機会

年間を通じて、中・高・大学生のボランティア活動相談や個別オリエンテーション、活動先のコーディネートを行っています。その他、茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校 JRC 部の受入を月 1 回程度、ボランティア情報の発信もしています。

### 学生たちにとって「ボランティア」とは

学生はボランティアをどう思っているのだろう…。生の声を聞いてみました。

- ・中学のボランティア部で認知症の施設の掃除をした。もっとやりたいと思って入部した
- ・ボランティアは初めて。みんなで掃除するのが気持ち良いので続けたいと思う
- ・良い人になりたいと思う。中学で地域清掃をして、ボランティアで良い人に近づけるのではと思った
- ・福島出身で震災の時、兄がボランティアの人に助けってもらった。自分もボランティアをしたいと思った
- ・中学からボランティアが大好きで楽しい

コロナ禍で海岸清掃や学校内の清掃が主な活動のため、掃除に関する回答が多かったです。

最近の受験事情としてボランティアを重視する傾向にあります。その証明書のためのボランティア活動が

最初のきっかけだったり、友達に誘われて軽い気持ちで申し込んだものであっても、その活動で味わった「楽しさ」や「自分を必要とされた」「私もあの人のようになりたい」思いなど、心を揺さぶられた感覚があれば、再びボランティアをしたくなるのではないのでしょうか。また、地域課題を感じて、解決したい、参加したいという思いになった時の原動力になると思います。

何度もボランティアを経験してきた高校生・大学生に今後やってみたいことを聞くと、「ビーチクリーン」「人と関わること」「一人暮らしの高齢者の庭の草取り、ごみ出し」「イベントスタッフ」などでした。

SNS が得意な学生もいるので広報面などで、どの団体も若者とつながる要素があるように思います。

ボランティアを継続するかは本人の意思次第。進路や将来について考える中で、自主性、自己肯定感、他への思いやりなどから地域課題を見つけているためのサポートが微力ながらできればと思っています。

ボランティア相談をご希望の方はいつでも連絡お待ちしております！お気軽にどうぞ♪

# 【特集】市民活動のおまつり/交流イベント ヒストリー

今年度もやります！市民活動のおまつり/交流イベント「こどたん+(プラス)2023」！

コロナ禍でイベント自粛が続き、サポセンのおまつり？こどたん？どんなことやるの？とイメージがわからない方も多いかもしれません。サポセン開設以来、ほぼ年1回、市民活動のPRと様々な活動主体同士の交流・連携をめざし、市民のみなさんにより親しみを持って参加してもらえるよう、時代にあわせてテーマや形式、タイトルを変えながら実施してきた交流イベントの歴史をちょっとふりかえってみたいと思います。

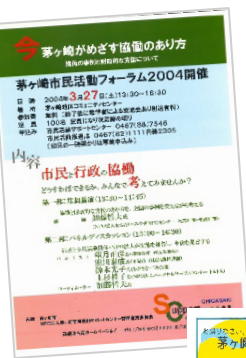
## 2002～2009

### 「市民活動」来て！見て！知って！ メインテーマは「協働のまちづくり」



初期のころは、「フェスタ」と「フォーラム」の二本立て。おまつり形式の「フェスタ」ではサポセン会場を中心に、市民活動を楽しくPR。パネル展示、フリマ/模擬店、体験/相談コーナーパフォーマンス、お楽しみ抽選会など、来場者と市民活動団体との様々なふれあい企画がありました。

一方「市民活動フォーラム」は、市役所分庁舎コミュニティホール等で、講演会や事例発表、パネルディスカッションが中心のプログラム。市の制度説明はじめ、市民と行政が協働でまちの課題解決に取り組むためにはどうすればよいのか、ひとりひとりが行っている小さなことが少しずつ広がっていく可能性について、わくわくしながら熱く語り合いました。また、企業との協働、団塊世代や若者世代の参画促進など年々テーマの範囲を広げ、活動パネル展示、ミニコンサート、ワークショップなど、市民が気軽に来場し、楽しく交流できる雰囲気づくりにも力を入れました。



## 2010～2018

### ごちゃまぜ、手作り感満載の「ワイワイまつり」 市民パワーが加速的に拡大！

市民活動の魅力や楽しさを一人でも多くの人に知ってもらいたい、より参加しやすい、愛されるイベントにしよう！と、まつり形式を本格的に取り入れたのが2009年度。特設ステージパフォーマンス（手話通訳付）、展示や体験コーナー、模擬店/フリマ、スタンプラリー、抽選会など、規模が大きくなるにつれて、サポセンから中央公園（第一カッターきいる公園）へと会場が広がっていききました。

- 2002/4/14 ■ちがさき市民活動サポートセンター オープニングフェスタ  
来て！見て！知って！  
▷サポートセンター未来予想「(市民活動団体による)3分間リリーススピーチ」、よろしくパーティ
- 2003/3/29 ■サポセンフェスタ 2003  
わたしにできる社会貢献。  
今、市民活動に燃える若い世代！
- 2004/3/27 ■市民活動フォーラム 2004  
今、茅ヶ崎がめざす協働のあり方  
～協働事例と財政的支援について  
▷基調講演：加藤哲夫さん(せんだい・みやぎNPOセンター代表理事)
- 2005/3/20 ■茅ヶ崎市民活動フォーラム 2005  
みんなで助けよう協働の輪  
▷2005年4月施行「市民活動推進条例」説明、基調講演：川崎あやさん(まちづくり情報センターかながわ理事)、げんき基金支援オークション(げんき基金寄付第1号)
- 2006/3/11 ■茅ヶ崎市民活動フォーラム 2006  
NPOと企業で新しいまちづくり  
▷企業との協働事例発表(ジャスコ茅ヶ崎店、TOTO他)
- 2007/3/24 ■茅ヶ崎市民活動フォーラム 2007  
地域で輝けシニアライフ  
▷基調講演：富永一夫さん(NPO法人フュージョン長池代表)、ミニコンサート
- 2007/5/27 ■さぽせんフェスタ 2007  
きて見て知って手伝って  
▷市制施行60周年、サポセン5周年、会場はサポセンとジャスコ茅ヶ崎店
- 2008/3/9 ■茅ヶ崎市民活動フォーラム 2008  
地域で活かそう…あなたの“ちから”  
来て・見て・知って・手伝って  
▷市民活動見本市、「Café.COM」の軽食、協働推進事業採択事業の紹介
- 2009/1/17 ■茅ヶ崎市民活動フォーラム 2009  
話してみようカタチいろいろ  
若い世代のまちづくり  
▷げんき基金説明会、小学生向け木工教室



- 2010/3/13 ■**さぼせんワイワイまつり 2010**  
**咲いて咲かせて市民のチカラ**  
 ▷チラシコンテスト表彰、引き馬乗馬体験
- 2011/3/5 ■**さぼせんワイワイまつり 2011**  
**This is it! 市民オールスターズ**  
 ▷NPO の CM 上映@イオン茅ヶ崎中央店エントランスホール、エコトレ・リユース箸
- 2012/3/2 ■**さぼせんワイワイまつり 2012**  
**寄り添う心 つながる縁 (えにし) ~ほっとけないべ!**  
 ▷震災復興支援、寄付コーナー、引き馬、犬猫里親会、さぼちゃんフラダンス
- 2013/3/2 ■**さぼせんワイワイまつり 2013**  
**ありがとう~つながる思い拓く未来~**  
 ▷10周年記念、サポセン10年のあゆみ、感謝状進呈、防災・復興支援、コラボ企画
- 2014/3/8 ■**ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2014**  
**~大集合! 幸せつむぐ彩りたち~**  
 ▷特設ステージ@中央公園、防災減災特設ゾーン(イザ!カエルキャラバン!), スタンプラリー、えぼし麻呂&かにやお、切手寄贈式
- 2015/3/7 ■**ちがさきサポセン★ワイワイまつり 2015**  
**LINK!**  
 ▷特設ステージ@中央公園、復興支援、カエルキャラバン、エコステーション
- 2016/2/27 ■**ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2016**  
**ぐるぐるめぐる**  
 ▷ステージカー@中央公園、カエルキャラバン、CoiCoi サポセン for きっず@サポセン
- 2017/2/26 ■**ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2017**  
**Let it go! 自分らしくいられる「居場所」**  
 ▷ステージカー@中央公園、カエルキャラバン、サポセンサブ会場、スタンプラリー
- 2018/2/25 ■**ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2018**  
**子ども×げんき=未来!**  
 ▷中央公園&サポセン、カエルキャラバン、スタンプラリー、切手寄贈式ファイナル

参加団体は市民活動団体に加え、行政や地縁団体、大学、飲食の出店を中心とした市内事業者、まつりの趣旨に賛同してくれたグループなど、茅ヶ崎をもっとよいまちにしたいと活動する市民が終結! 高校生や個人ボランティアのみなさんの力にも支えられました。



ワイワイまつりは来場者との距離が近く、直にふれあえる貴重な活動 PR の機会として、また、他の参加団体の活動を知り分野を超えて交流を深めながら、力を合わせたまちづくりに取り組むきっかけづくりのイベントとして、認知度も年々アップ。

東日本大震災後は、防災意識の高まりとともに防災のイベント「イザ!カエルキャラバン!」を同時開催するようになり、2018年には参加協力90団体、来場者が約8,500人にまで増加しました。



### 参加するたび、私のまちが好きになるー

誰かのために、みんなのためにと、参加するひとりひとりの思いが集まり、ふんわりと温かい優しい空気が会場全体を包み込み、誰もが自然体で春のひと時をゆったり過ごせるおまつり。



茅ヶ崎のまつり新定番として、より多くの人に参加してほしい思いは変わらない中で、巨大化により、賑わいの喜びと、事故無く安全にやり遂げなければという運営側の緊張感や費用課題とのジレンマを抱えるように。

## 2019~2022

### 「子ども」を真ん中に、多世代がつながるイベントへ

安全面から会場を室内メインにし、子どもたちが、ものづくりや遊び、様々な体験を通して市民活動の多様性や奥深さ、茅ヶ崎の魅力を体感できるおまつりにしようと、イベント形態を再構築。



コロナ禍では「オンライン開催」にも挑戦しました。さらに昨年度からは「+プラス」に進化させ、様々な世代が楽しく交流できる、ユニバーサルデザインのイベントをめざしています。

イベントをきっかけにあらためて“ちがさきの魅力”を知る。これからも住み続けられる素敵なまちにするために、自分にもできることを考える。そして、ひとりひとりが新しいことにチャレンジする! ---それが、新しいおまつり、「こどたん+(プラス)」!

- 2019/3/30 ■**こどもたいけん☆ワイワイまつり (略称:こどたん) 2019**  
 @総合体育館(第一体育室、柔剣道室、前庭)
- 2020/3/29 ■**こどもたいけん☆ワイワイまつり (略称:こどたん) 2020**  
 @うみかぜテラス ※コロナで中止
- 2021/2/13 ~3/14 ■**こどもたいけん☆ワイワイまつり こどたん2021 オンライン**  
 ▷ZOOM 生配信、チャレンジクイズ、動画
- 2022/2/14 ~3/13 ■**こどたん+(プラス) 2022 オンライン**  
 ちがさきを知る・みんなでつながる・新しいことにチャレンジする  
 ~体験型多世代交流イベント  
 ▷ZOOM ライブ配信、SDGs クイズ、動画、さぼやんガールズによる「プラクラ」動画、おしえて!好きなあそびアンケート

## 2023

### サポセン20周年記念、テーマは「つながる」

3年ぶりの対面開催! イベントをつくるのは市民のみなさん。まずは「キックオフ交流会」へGO!



- ◆日時：9月10日(土)14:00～17:00 ◆場所：ちがさきサポセン ◆参加：19名  
 ◆ゲストスピーカー：関根 千佳さん（同志社大学客員教授、(株)ユーディット会長兼シニアフェロー）  
 荒井 佑介さん（NPO 法人サンカクシャ 代表理事）

### 《関根さんのお話》

「もし明日、事故や病気で障害を持ったら、あなたは  
 どうやって仕事を続けますか？」

ほとんどの人は、「続けられない」と考えてしまうか  
 もしれません。「障害（Disability）とは、能力がないの  
 ではなく、能力の発揮を阻害されている状態」のこと。  
**ユニバーサルデザイン（UD）**とは、「年令、性別、能  
 力、体格などにかかわらず、より多くの人ができるだけ  
 使えるよう、最初から考慮して、まち、もの、情報、サ  
 ービスなどを多様な市民と共に作るという考え方と、  
 それを作り出すプロセス」です。

UDの2大要素は「アクセシビリティ（使えるのか）」  
 と「ユーザビリティ（使いやすいのか）」ですが、近年、  
 注目されているのは「ダイバーシティ&インクルージ  
 ョン」の考え方。性別、年齢、障害、国籍、宗教、LGBTQ  
 など多様な人々を分けない社会であることが大前提。

多様な市民の声は社会を動かします。

では、どんなふうに変えていけばよいのか。  
 「北風より太陽」で社会を動かしたひとつの事例があ  
 ります。今、全米のTV番組やCMには字幕がついてい  
 ます。その理由は、視聴者が、「字幕を付けてくれてあ  
 りがとう」というサンクス・レターを大量にTV局に届  
 けたことで、消費者に感謝されると止められなくなっ  
 たから。結果として、「良識ある企業としてUDは当然」  
 という意識に、会社や社会全体が変化していくのです。

### 《荒井さんのお話》

サンカクシャの活動の柱は、居場所づくり、仕事のサ  
 ポート、住まいのサポートの3つ。子どもの貧困という  
 言葉が社会に広まるにつれ、子ども食堂や学習支援な  
 ど、15歳までの子どもへの支援は整いつつあり、また  
 30代への就労支援の体制もそれなりにあるので、サン  
 カクシャでは主に15歳から25歳までの若者たちへの  
 サポートを行っています(今は約200人を伴走支援)。

居場所拠点で、DM封入や動画編集の仕事を請負う  
 他、プロの技術者から動画編集やカメラ撮影の技術を  
 学ぶ機会を得ることも。クリエイティブなことに興味  
 がなくてもアートのような非日常は若者を激変させま  
 す。オンラインゲームの仮想空間がひきこもっている  
 若者たちの居場所になることもわかってきました。

こちらから歩み寄っていかないとつながれない若者  
 が沢山いると感じています。「誰ひとり取り残さない」  
 ということを考えた時、待っているだけでは駄目。

最近、サンカクシャを卒業して一人暮らしを始めた  
 若者が「寂しい」と言ってきました。サンカクシャは、  
 いつでも帰ってこられる「実家」みたいな場所になれ  
 るとよいと思っています。

### 《参加者の感想》

「海外との違いと当事者がUDを作っていく仕組みが  
 聞いて良かった」「(荒井さんの)情熱と行動力に感服。  
 動けばお金はあとからついてくる」「もっと交流時間が  
 ほしかった」など

※開催詳細はHPご覧ください

## 開催案内

### 第5回 SDGs カフェ 障害のある人とおしゃべりしませんか

～津久井やまゆり園事件から6年、障がい者は今～

「私たちのことを私たち抜きに決めないで」。知的障がいのある人の意思決定を支援するために  
 お互いがどう関わっていけばいいのか、そのきっかけを一緒に考えます。

- ◆日時：12月3日(土)14:00～16:00 ◆場所：ちがさきサポセン  
 ◆ゲストスピーカー：上杉 桂子さん（NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン 理事）  
 ◆対象：知的障がいのある人の支援に関心のある方、市民活動・地域活動をされている方  
 自治体・社会福祉法人職員、事業者の方、SDGsに興味関心のある方  
 ◆定員：25名（11月末まで、先着順。手話通訳・要約筆記・託児希望の方は11/17までに申込）  
 ◆参加費：無料



▲申込はこちら



# さぼちゃんが行く！



## 一般社団法人 茅ヶ崎市観光協会

観光事業の振興発展と観光資源の開発を図るため、観光事業の開催・助成、観光情報の提供・収集、観光客の誘致、そしてTシャツ、えぼし麻呂ストラップなどのオリジナルグッズの製作・販売も行っています。また、大岡越前祭、浜降祭、サザンビーチ花火大会、アロハマーケット等のイベント支援、茅ヶ崎海水浴場及び駅構内改札横の観光案内所や、年間約 100 万件のアクセスがあるホームページの運営管理も行っています。

《事務局長の新谷さんにお話をうかがいました》

### ぜひ茅ヶ崎市観光協会へ

茅ヶ崎市観光協会(以下観光協会)は、国道1号線沿いの東横INNホテルの西側に隣接した新しい事務所で約10名のスタッフで運営しています。現在の会員数は、法人・団体個人事業主(企業)合わせて約230、70%弱が個人事業主です。

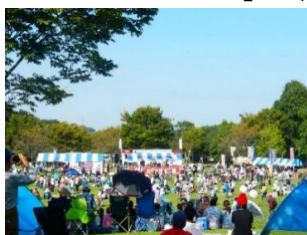
観光協会へは何度か訪問させていただき人との交流や茅ヶ崎の観光に関する興味深いお話を伺いました。「茅ヶ崎の魅力をもっと発信したい！茅ヶ崎を元気にしたい！」と活動している団体同士の交流や連携のきっかけになればと思い、今回は観光協会の取り組みについて紹介させていただきます。

### 「海も緑も楽しめる町」茅ヶ崎

茅ヶ崎は湘南の近郊の町に比べ観光資源が乏しく、観光協会の運営は観光業が主体になりにくいいため商工会議所、行政がその責を担ってきました。

近年は圏央道の開通で北関東からのアクセスは格段に良くなっています。この夏、近郊の海水浴場がモダンな海の家が変わってきているのに対し、茅ヶ崎はあえて「昭和レトロ」イメージを大切に、家族が一日をゆっくり過ごすコンセプトで海の家を運営しました。

茅ヶ崎は「海」「サザンオールスターズ」「ハワイアン」「フラダンス」の強いイメージが定着していますが、もう一方で北側の山里エリアにも素晴らしい風景が連なっています。「丘陵(ノースヒルズ)」「里山公園」「カントリーウェスタン」で緑の魅力も同時に伝えたいと



の思いも強く語って下さいました。インバウンドは準備が遅れているため、すぐの対応は厳しい状況なのですが、市内の移動には「のんびりと茅ヶ崎散策が楽しめる」「友人が遊びに来た時に家族とともに利用できる」ようなコンパクトな町茅ヶ崎にふさわしいレンタサイクルの普及を考えているそうです。

### 茅ヶ崎が好きだから

新型コロナウイルスの感染流行は私たちのワークスタイルを大きく変え、感染の長期化で多くの人々が新しいライフスタイルを求めるようになりました。現在、茅ヶ崎市は移住先として高い評価を受けています。

- ①東京23区からの転入者の増加率44%、転入者の子育て世代率65.4%で圧倒的な第1位(総務省；2021年住民基本台帳人口移動報告)
- ②移住してみたい「世界のSmall Cityランキング」第5位(イギリスの情報誌「MONOCLE」が選ぶ世界のベストスマールシティ25で日本から唯一ランクイン！)

茅ヶ崎には加山雄三、サザンオールスターズに代表される湘南サウンドや、都会でもなく田舎でもない良いイメージが定着しています。



「変わらない茅ヶ崎に誇りを持ち、緩やかな雰囲気、時間の流れ、肌感覚、人との交流、温度感を大切に『茅ヶ崎が好き』な人が多く住んでいる。そして訪れた人もその雰囲気や人との繋がりを感じ移住を考えてくれるような具現化しにくい魅力が茅ヶ崎にはあるのではないか」「茅ヶ崎の観光振興は『100人が1回ではなく1人が100回来たくなる茅ヶ崎』をより大切に進めていきたい」とのことでした。

### 「顔の見える関係づくり」を大切に

移住される方が増える一方で、茅ヶ崎には変わらない頑固さや積極的に何かを望まない風潮も残っているようです。茅ヶ崎にはないセンスを持った若者、セカンドライフの準備に入った50~60代の中老年、茅ヶ崎で子育てを希望する世代など、「新しいライフスタイルを求める人の受け入れをスムーズに進めるには地元の人との顔の見える関係づくりが必要です」とのご意見を頂きました。

観光振興につながるのなら、「集まれる場所探し」「交流の機会の促進」「情報発信」等、様々な場面で協力できる可能性がありそうですね、ともおしゃって頂きました。今後も親密な関係を継続し、より具体的な協働活動を進めたいと考えています。

# お知らせ



## IT スキルアップミニ講座 4 「PhotoScape X 画像編集」

基本操作を学び、イベントの開催、会員募集など Web やチラシに入れる画像作りを学びます

- ◇日時：10月25日(火)13:30～17:00
- ◇場所：ちがさきサポセン（フリースペース大）
- ◇講師：大木 伊都子さん（NPO 法人パソコンボランティア湘南）
- ◇内容：Photo Scape X の基本操作と便利な機能
- ◇参加費：500 円（資料代）
- ◇定員：10 名（要申込・先着順／1 団体 2 名まで）
- ◇対象：市民活動団体、自治会等地縁団体、福祉関連団体等で広報活動に関わっている方など
- ◇持ち物：筆記用具、ノート PC
- ※OS：Windows10・11、officeWord2016 以上
- ※PhotoScapeX(事前インストール必須)
- ※デスクトップ PC の方は、サポセンの貸出 PC が利用可能（要申込／先着 2 名まで）

お申込はコチラ▶



## パソコン湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンに来て相談できます。（無料、各回定員 2 名）

開催日：第 2・第 4 月曜日

- ①13:00～14:00 ②14:00～15:00
- ③15:00～16:00

※お申込みは直接 NPO 法人パソコン湘南へ ▲



## Web 版

## 市民活動団体ガイドブック 2022 年度版

Web 版(サポセン HP)にて登録情報を一斉更新しています。306 団体の情報を掲載！（9/20 現在）

「社会貢献や地域貢献につながる活動に参加したい」「課題解決のため他団体と協力したい」など、市民と団体をつなぐガイドブックとして活用ください。

紙面で閲覧をご希望の方はサポセン窓口にて一覧ファイルをご覧いただけますのでお気軽にお越しください。

※新規登録は随時受付中！登録申請書類は窓口、もしくは HP からダウンロード可能です。ガイドブックページはこちら▶



## 市民活動「げんき基金」へ寄附しました

収穫したゴーヤを皆さまにお裾分けした際に募金いただいた総額は、15,990 円でした。ご協力ありがとうございました。



## 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月 1 日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

- ▷10/1 号：NPO 法人茅ヶ崎演劇鑑賞会
- ▷11/1 号：ふらっと南湖

紙面の都合上、掲載が遅延される場合があります

## サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

### 10月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- ・10/14NT&15AM こどたん+キックオフ
- ・10/22&29PM NPO 講座 HP 制作
- ・10/25 PM IT スキルアップミニ講座 4

### 11月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 12月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- ・12/3 PM 第 5 回 SDGs カフェ
- ・12/6 PM IT スキルアップミニ講座 5
- ・12/17 AM こどたん+2023 場所調整会議

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、上記以外でもフリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

## ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30～21:30（休館日：毎月第 3 水曜日、年末年始(12/28～1/3)）

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき

（指定管理期間：2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

サポセンキャラクター

“さぼちゃん”



サポセン HP